

2

都市交通体系の基本方針

快適性、速達性、安全性、信頼性のある円滑な交通

2-1. 都市交通の目標

鉄道駅・駅周辺の充実により交通結節点*としての拠点性を高めるとともに、鉄道やバスの利便性向上や幹線道路の計画的な整備を総合的にを行い、地区内、地区間、近隣市町間との交通を充実し、移動手段を選択できる都市交通の実現を目指

します。また、住宅地内の通過交通の抑制や広くて段差のない歩道、市内・市外を結ぶ歩行者・自転車道路を整備し、安全で楽しい歩行者自転車空間の創出を図ります。

2-2. 都市交通の特性（現況と課題）

- JR千歳線は、札幌市や新千歳空港などを結び、道内有数の幹線鉄道として大きな輸送機能を有しています。この鉄道機能との結節をより快適なものとするため、鉄道駅、駅周辺の充実を進め、交通結節点としての拠点性を高めていくことが必要です。
- 道路網は、高速自動車道路、主要幹線道路等の広域幹線道路に恵まれ、周辺都市および全道へと広がる利便性の高い道路ネットワークを形成していますが、市域内道路網については、地震災害などの緊急時の対応も考慮した、各地区の連携強化や地区内道路の充実など、快適な生活環境を確保する道路ネットワークの形成が必要となっています。
- 地区によっては公共交通の便が良くないため、子どもや高齢者、障がい者などの移動制約者*が、駅や他の地区の商業・文化・教育施設などが利用しにくい状況になっています。一方、札幌市・北広島市・恵庭市を結ぶ広域自転車道として道道札幌恵庭自転車道線*の整備や自転車利用環境整備モデル事業*の指定を受けて歩行者・自転車道路の整備が進められています。高齢化が進むなかで、だれもが利用しやすい公共交通や歩行者・自転車道路の拡充など、自動車に頼らない、人と環境にやさしい交通機能の整備が必要となっています。

*交通結節点

駅前広場のように、バス、自動車、鉄道など異なる交通手段を相互に連結する場所。

*移動制約者

高齢者や障がい者、子ども、妊婦、けが人など身体的な特性により何らかの不便を感じる人に加え、重い荷物を持つ人や乳幼児連れなど移動に制約を受ける人。

*道道札幌恵庭
自転車道線

現在、札幌市の豊平川河川敷から北広島駅東口広場までを結ぶ、延長約21kmの間の整備が進められているが、さらに恵庭市までの延伸が計画されている。

2-3. 都市交通体系の基本方針

本市における都市交通体系の基本的な方向を次のように定めます。

■ 都市交通体系の基本的な方向 ■

① 多様なネットワークの形成

本市の特徴である5つの市街地からなる都市構造をふまえて、公共交通、広域的な幹線や市域内道路、歩行者・自転車道路などの充実により、移動手段が選択できる多様なネットワークの形成を図ります。

② 人と環境にやさしい交通機能の充実

公共交通の利便性の向上や歩行者・自転車道路の整備などにより、自動車に頼らない交通網や、福祉に配慮した道路空間の形成など、人と環境にやさしい交通機能の充実を図ります。

③ うるおいとやすらぎのある道路空間の創出

冬期間も安全で円滑な交通機能の確保や街路樹や花と一体となったうるおいとやすらぎのある、安全で快適な道路空間の創出を図ります。

(1) 都市間を結ぶ広域的な道路(広域幹線道路)の整備

○道央都市圏*における広域的な人や物の移動を円滑にするとともに、本市における骨格的な道路網を形成するため、高速自動車道、国道、道道による広域幹線道路網の整備や適正な維持を促進します。

① 高速自動車道路

- 道央都市圏における移動の高速化、圏外の都市との連携を強化するため、高速交通ネットワークの骨格として道央自動車道の機能の維持を促進します。

② 主要幹線道路

- 広域的な人や物の移動、近隣市町との連携を強化し、本市における骨格的な道路網として国道36号、国道274号、道道江別恵庭線、羊ヶ丘通を主要幹線道路として位置づけ、道路交通機能の強化を促進します。
- 羊ヶ丘通については、引き続き恵庭市までの延伸に向けた検討を行います。また、道央自動車道や主要幹線道路との有機的なネットワークを図るため、新たな道路の整備に向けた検討を行います。
- 大型車等の通過交通が多い道道江別恵庭線の沿道に立地する、教育・文化施設や住宅地の環境、安全性を向上するため、新たな道路の整備などの検討を行います。

*自転車利用環境整備モデル事業 環境や人にやさしい自転車の利用を促進するため、自転車専用道路、自転車駐車場などの利用環境整備を国が支援して行う事業。平成11年(1999年)に、本市を含む全国で14の都市がモデル都市に選ばれた。

*道央都市圏 札幌市を中心とした小樽市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、長沼町、南幌町、の7市3町からなる圏域。

(2) 都市内の道路(幹線・補助幹線道路、区画道路)の整備

○主要幹線道路を補完し市内の各地区間を連携する幹線道路、また、幹線道路を補完し区内を連絡する補助幹線道路、さらに住宅地内の区画道路により安全性、利便性の高い道路ネットワークの形成を図ります。

①市内の各地区間を結ぶ道路(幹線道路)

●地区間の連携を強化するため、道道栗山北広島線をはじめとする各地区間を結ぶ道路を幹線道路として位置づけ、道路交通機能の強化を促進します。

②地区内の道路(補助幹線道路)

●幹線道路を補完する地区内の道路を補助幹線道路として位置づけ、輪厚中央通などの未整備区間の整備を推進するとともに、老朽化した道路の再整備、適切な補修、改良など維持管理を行います。

③生活に密着した道路(区画道路)

●幹線道路や補助幹線道路を補完する区画道路は、市民生活に密着した道路として順次整備を進めるとともに、適切な補修、改良など維持管理を行います。また、地区住民と行政が協働して安全性や防犯性を高めるなど、歩行者、自転車、自動車共存でき、歩いて楽しい道路空間の形成を図ります。

④適切な都市計画道路網の配置

●新しい都市計画道路*の計画にあたっては、周辺の土地利用をふまえ、既存の市街地や道路との連絡性などに配慮しながら、社会経済動向などを分析した上で適切に定めていきます。また、既定の都市計画道路のなかで相当の期間整備未着手の路線については、周辺土地利用の状況や道路網としての位置づけなどを考慮した上で、住民の合意のもとに、変更や廃止などの見直しを検討します。

(3) 歩行者・自転車道路の整備

○子どもから高齢者、障がい者などだれもが安全、快適に移動し、自動車に頼らない生活ができる市街地づくりを進めるため、歩行者空間や自転車道路を確保し、日常生活やレクリエーションを楽しくする歩行者・自転車道路のネットワークを形成します。

①歩行者道路

●駅周辺や商業施設、コミュニティ施設などの人が多く集まる場所を中心として、広くて段差のない歩道などだれもが利用しやすく、安全で快適な歩行者空間を確保します。

●住宅地内において、地区住民と行政が協働し、木や花などにより緑化を進め、地区住民が憩い、交流する個性的な道路空間の創出を図ります。

②自転車道路

●近隣市町を連絡する広域的なサイクリング・ネットワーク*を形成するため、道道札幌恵庭自転車道線などの整備を促進するとともに、沿道に休憩施設、広場などのレクリエーション施設を配置します。

●市内の各地区間の連携を強化するとともに、自然景観の優れたところやレクリエーション施設などを歩行者・自転車道路で結ぶサイクリング・ネットワークを形成します。また、通勤、通学、買い物など日常の移動やレクリエーションとして自転車が安全、便利に利用しやすい環境整備を進めます。

*都市計画道路

*サイクリング・ネットワーク

*バスバース

都市計画法に基づいて都市計画決定した道路をいう。その区域は、将来の事業が円滑にできるよう制限が働き、建築規制が課せられる。道道札幌恵庭自転車道線を軸に、近隣市町や市内のレクリエーション施設などを歩行者・自転車道路で結ぶネットワーク。全ての路線が自転車歩行者専用道路というわけではなく、一般道路の歩道を利用する路線を含む。

駅前広場やバスターミナルにおいて、バスの利用客が乗り降りするためのバス停留スペース。

(4)公共交通の充実

○高齢社会に対応したまちづくり、また、自動車に頼らない環境にやさしいまちづくりを進めるため、駅周辺の充実により鉄道駅の交通結節機能を強化するとともに、鉄道やバスによる利便性の高い公共交通網の形成を図ります。

①駅・駅前広場

- JR北広島駅の交通結節機能を強化するため、バスバース*やタクシーバース*、パークアンドライド*駐車場、駐輪場、交流広場など駅前広場の充実を図ります。また、JR上野幌駅は、関係機関と協力しながら、周辺の自然景観との調和や利用者の利便性等に配慮した駅前整備のあり方について、検討を進めます。

②公共交通

- 本市と隣接市町との連携を強化するため、JR線や路線バスの利便性の向上を促進します。
- 市民・事業者・行政が協働し、地区間を結ぶ交通および地区内の主要施設をネットワークする交通のあり方（コミュニティバス*など）について検討します。

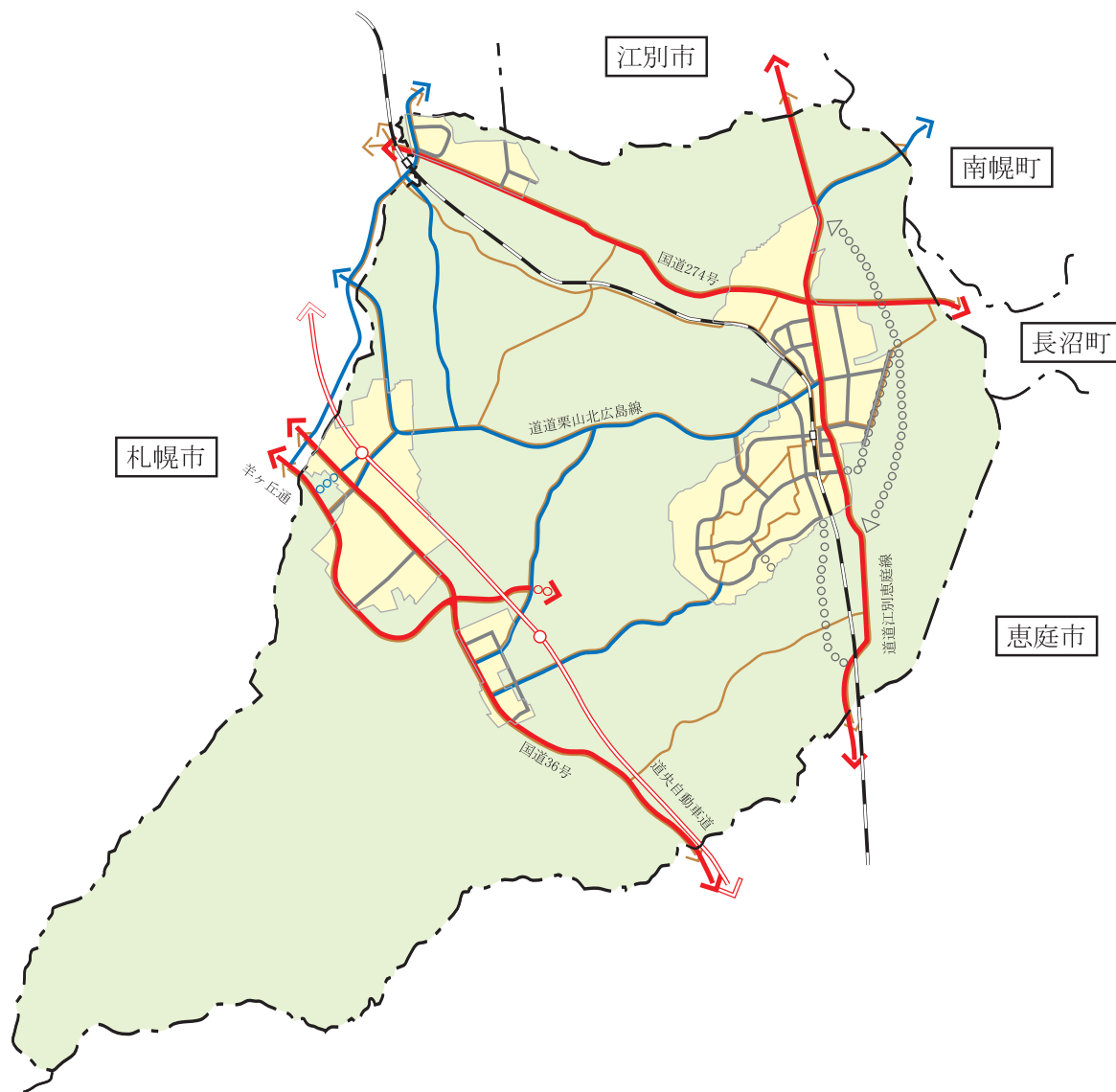
(5)道路空間の環境整備

- 通学路や病院、商業施設の周辺など歩行者の多い道路、また、自動車の交通量の多い道路については、優先的な除排雪や融雪の強化、信号機や標識の設置、街路樹のボリュームアップと適正な管理などを行い、道路の安全性や快適性、道路空間の憩いとやすらぎを高めます。また、市民・事業者・行政が協力しながら木や花による緑化を進め、うるおいのある道路空間の創出を図ります。

*タクシーバース 駅前広場などにおいて、タクシーの利用客が乗り降りするためのタクシー停留スペース。
*パークアンドライド 自宅から駅などへ車で行き、駅近くに駐車をして、電車などで目的地に至る方式のこと。
*コミュニティバス 地域住民の利便性向上等のため、一定地域内を運行する地域密着型のバスで、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停の位置などを工夫したバスサービス。

第3章 | 都市づくりの分野別基本方針

都市交通体系方針図



凡 例	
	高速自動車道路
	主要幹線道路
	幹線道路
	補助幹線道路
	歩行者・自転車道路 (サイクル・ネットワーク主要路線)
	J R
	検討路線

